

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

《ジュピター》

&

《ヴォツェック》

音楽史を築いた
伝統と革新

♪音楽の都ウィーンの暁と黄昏♪

ベルク (フォン・ボリース編):
パッサカリア
Berg (arr. von Borries): Passacaglia

ベルク:
歌劇「ヴォツェック」から3つの断章
Berg: Three excerpts from "Wozzeck"

モーツァルト:
交響曲 第41番 ハ長調 K. 551
「ジュピター」
Mozart: Symphony No. 41 in C major, K. 551 "Jupiter"



ウィーンで学び、古典から
現代作品まで手掛ける俊英
現代におけるクラシック音楽の
意味を解き明かす!

指揮= **下野 竜也**
(首席客演指揮者)
Conductor: Tatsuya Shimono



ベルリンで学び、欧米で活躍するソプラノの新星
ソプラノ=
エヴェリーナ・ドブラチェヴァ
Soprano: Evelina Dobračeva

コンサートマスター=小森谷 巧
Concertmaster: Takumi Komoriya

読売日本交響楽団 第591回 名曲シリーズ
Popular Series, No. 591

2016年 **4月19日** (火) 19時開演
サントリーホール

Tuesday, 19th April 2016 19:00 / Suntory Hall

S¥7,500 A¥6,500 B¥5,500 C¥3,600

Hibiki to the World



SUNTORY HALL

30th

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網
読売テレビ、読売日本交響楽団

お申し込み・お問い合わせ
読響チケットセンター

0570-00-4390

(10時~18時・年中無休)

<http://yomikyo.or.jp/>

「音楽の都」ウィーンの暁と黄昏



指揮= 下野 竜也

Conductor: Tatsuya Shimono

鋭い感性と熱いハートで活力に満ちた音楽をつくる俊英指揮者。2006年から6年余り、読響・正指揮者として、意欲的なプログラムを次々に披露し、多大な功績を残した。2013年4月からは、読響・首席客演指揮者を務める。1969年鹿児島生まれ。大阪フィルの指揮研究員時代には、朝比奈隆らの薫陶を受けた。ウィーン国立演劇音楽大学に留学中、東京国際音楽コンクールとプザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以降、チェコ・フィル、シュトゥットガルト放送響、ローマ・サンタチェチーリア管などと共演し、国際的な活躍を展開している。現在、広島ウィンドオーケストラ音楽監督、京響常任客演指揮者、上野学園大学教授。

ウィーンが“音楽の都”と呼ばれるようになったのは、第一にモーツァルトのおかげだ。18世紀末にこの街で活躍したモーツァルトは、古典派の形式を熟成させ、ウィーン楽派の伝統を確立した。作曲家が1788年に書き上げた交響曲第41番「ジュピター」は天才の最高傑作の一つであり、壮麗で輝かしい響きに満ちている。

ウィーンの楽壇をリードした作曲家たちの多くは、時代を超えて常に革新的なアイデアを作品に盛り込もうと心がけた。モーツァルトは「ジュピター」の終楽章でフーガとソナタ形式を融合させ、真に独創的な音楽を生み出した。同様に1920年代初頭、ウィーン生まれのベルクは最新の12音技法と調性音楽を融合させた野心作、歌劇「ヴォツェック」に取り組んだ。

多彩な表情を持つ“音楽の都”の神髄に迫るには、200年以上にわたる伝統と革新のせめぎ合いを手中に取めなければならない。古典から現代まで幅広いレパートリーを誇る下野竜也は、かつてウィーン国立演劇音楽大学に学び、この街が育ててきた作曲と演奏の流儀に習熟している。「ヴォツェック」から3つの断章を歌うロシアのソプラノ、エヴェリーナ・ドブラチェヴァは20世紀作品を得意とする実力派だ。

ベルクが一翼を担った新ウィーン楽派は現代音楽に曙光をもたらしたが、同時に古き良きヨーロッパの音楽的伝統に黄昏を告げた。18世紀古典派の金字塔である「ジュピター」と20世紀前衛の嚆矢ともいえる「ヴォツェック」は、西洋音楽史の盛衰を一身に負った“音楽の都”の始まりと終わりを体現している。意味深なプログラムである。



©Dmitry Tarasenko

ソプラノ= エヴェリーナ・ドブラチェヴァ
Soprano: Evelina Dobračeva
欧米で注目を浴びる期待の新星ソプラノ。ベルリンのハンズ・アイスラー音楽大学でN.シャープやJ.ヴァラディラに師事し、D.フィッシャー＝ディースカウやT.クヴァストフのマスタークラスで学ぶ。オペラではケルン歌劇場、ボリショイ劇場、スイス・ザンクトガレン劇場、ヴェルビエ音楽祭などに出演。バルシャイ、ティチアーティ、M.ウロフスキらの指揮でケルン放送響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、ネザールランド・フィルなどと共演。7月にはシンシナティ・オペラに「トスカ」のタイトルロールでデビューする。

読響日本交響楽団 第591回 名曲シリーズ

2016年4月19日(火) 19時開演

サントリーホール

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C ¥3,600

- 東京都港区赤坂1-13-1 Tel:03-3505-1001
- 東京メトロ南北線 六本木一丁目駅(3番出口)より徒歩約5分
- 東京メトロ銀座線 溜池山王駅(13番出口)より徒歩約7分

〈サントリーホール30周年記念参加公演〉

Hibiki to the World



SUNTORY HALL

30th

学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyoku.pia.jp/>

*座席選択してチケットをご購入いただけます(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)。*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド: チケットぴあ0570-02-9999、サントリーホールチケットセンター0570-55-0017